

「戦後80年」私見

愛甲郡愛川町  
和田  
源司

昨年は「戦後80年」数々の催しがあった。天皇皇后両陛下が激戦地、硫黄島を訪れ、慰問、慰霊された。天皇家、沖縄県・長崎県訪問された。

愛川町中津に東京裁判で死刑免れた大川周明住んでいた。従兄弟は風貌から外人かと思つた由。今は古民家山十郎になっている。

昭和24年小学校入学。父消え去るのみ言葉残した。講和条約発効。安保闘争。高校卒業迄、日本の最南端は鹿児島県と論島と教わつた。昭和37年C大学入学。

五十音「わ」名簿最後と思  
ったが、後ろにN君、H君  
いた。琉球政府からの留学  
生、パスポート持っていた。  
両君沖繩県医療の重鎮にな  
った。

石破前首相「戦後80年所  
感」発表した。何故か虚し  
さを感じた。戦争犠牲者は  
浮かばれない。政治経済等  
今や「戦後」ではないだろ  
うが、戦後の諸々の混乱を  
知る者として、日本は永遠  
に「戦後」でなければなら  
ない。

おわりに 戦後の日本に  
希望と勇気与えたのは昭和  
24年、湯川博士のノーベル  
物理学賞受賞だった。ノー  
ベル賞、一昨年、日本被団  
協、平和賞、昨年坂口博士  
生理学・医学賞、北川博士  
化学賞受賞、誠に快挙であ  
る。

# 高齢歯医者になって

小田原市 三宅 正純

昭和17年一卵性双生児として生まれた。私なりに「戦後」回顧する。夏の或る日、隣家の庭に皆、集まっていた。「どよめき」が起った。玉音放送きいていたと知つたのはずっと後だった。買い出し等、双子持つ母、大変だったろう。双子でなくてもどの母親も必死だった。

親戦死したY子さんいた。兄がシベリアに抑留され死亡知つた時の母の深い悲しみを思い出す。ラジオから「こんな女に誰がした」聞えた。子供心にも悲しい歌だった。浮浪児、傷痍軍人、引揚者、バンパン等死語になった。朝鮮動乱。日本統治したマッカーサー元帥、帰国時「老兵は死なず、唯

高齢者を国連は60才、世界保健機関は65才以上としている。総人口に65才以上の割合が14%以上占めると高齢社会、21%以上を占めると超高齢社会とされ、日本は1994年に高齢社会に2007年に超高齢社会に入り、世界最速だ。2010年の国勢調査では高齢者は23%だが、2035年には、3人に1人に、2060年に2・5人に1人になるらしい。

介護保険が認められるまでが健康寿命だが、その後約10年が最後の時間になる。高齢者の歩行速度低下は、大腰筋と大腿部の伸筋群の筋量減少と筋力低下による歩幅短縮に起因する。股、膝、足の関節の動きの低下に起因して体の揺れが大きくなり、腰を曲げた立位姿勢をとる。動作が遅くなるのは全身反応、視覚反応、聴覚反応の時間が長くなり、運動プログラムの構築に時間を要することになり、脊柱が変化する。猫背になり、腰が曲がっているという。ヒトにも、生物としての寿

重なる位置に重心をもつてくために股関節を曲げ、重心がいいところに来るようにする。又、膝関節を曲げてバランスをとるので、ランス能力が低下するが、散歩などの運動はそれを予防軽減する。骨密度増加、筋力増強、バランス訓練と併せて転倒防止にも役立つらしい。

高齢になると死亡率が増加し、語り合える身近な人が少しずつ減りだし、死が身近なものになってくる。

私は4月から日本画を学び始めました。しかしその技法はとにかく面倒で、岩絵の具を溶き、なか膠を混ぜ、筆や皿を片づけるなど手間がかかり、絵を描く前に疲れてしまいました。結局、日本画は早々に挫折しました。

そこで気軽に取り組みそうな水彩画を始めました。水で薄めればよく、片づけも簡単です。世界堂で透明水彩のセットを買い、絵の教室にも通い始めました。ところがここでもまた腹を立てています。先生は具体的に描

# 絵画療法 実践の苦勞

川崎市麻生区 小関 新

き方を示さず、「いろいろ試してください」と口で言うばかり。私は手取り足取り指導してもらえろと思っていただけに落胆し、この先生には実力

がないのではと疑っています。世間は年寄りに不親切です。

こうして私は、あちこちで挫折を重ねながらも一人で模索を続けていま

す。年をとってから新しい趣味を始めるのは、思った以上に困難が多いものです。それでも私は諦めるつもりはありません。道に迷いながらも、富士の裾野のジャングルを歩くように、孤独に絵の道を探っています。

人生には苦労がつきま  
のですが、挑戦をやめて  
しまえば前に進めませ  
ん。次は公募展に応募し  
できれば入選の知らせを  
お伝えしたいと思いま  
す。年寄りが新しいこと  
を始めるのは大変です  
が、負けずに挑戦し続け  
たいと思っています。

# 我々の生活と政治

川崎市麻生区 上原 良一

我々の収入は保険診療による所が大きいと言える。要は政治によって左右される。歯科の場合、技術料である歯冠形成（PZ）や充

力にした点数改定です。小泉政権下では医療費が大幅に削減され、自院の経営状況がもともとの10年

6千440円程度、税も3%だったように思います。令和7年は11万4千60円10%税です。メチャクチャな状態です。しかし補

でいます。500%増でない」といって先生もおられますが、私が思うにはまず200%増でスタッフを守ればと思っています。

填、小手術はほとんど点数は変わっていません。私がライセンスをもらった平成3年には大学病院に居ました。思っているのか？

たので点数のことは分かりませんが、平成5年から現在の令和7年まで技術料の点数は全く上がっていません。2年に一回点数改定があります。今回は上がりました……と言い、クリニツクレベルではあまり行わない手術の点数が上がったこととありました。我々をバ

ロシアが戦争をしかけた事もあり金も急上昇、歯科補綴物に金属、中でも金なしでは成り立ちません。保険適用のパラジウム合金(Pd)にも12%は金が入っています。銀合金もありますが多くの先生方が12% Pdを使用しています。

30年程前には30gで1万

自由投稿

